



自動車排ガスを模擬したガス高温腐食試験

さまざまな雰囲気条件で、室温から高温までの材料・部品の腐食試験をお引き受けいたします。

各種排気ガス組成に合わせた、室温から高温までの材料・部品の腐食試験

自動車の排気(燃焼)系の焼結部品は、高温・排気ガス中での耐食性が要求されます。当社では多様な排気ガス組成に対応できる炉を使用して、実際の使用条件の雰囲気・温度を再現した試験を実施いたします。また、試験後の材料・部品の耐食性など、各種評価もお引き受けいたします。

各種排気ガス組成による腐食試験

一般的な自動車排気ガス成分は、窒素、二酸化炭素、酸化窒素、水蒸気などです。
(例えば、 N_2 :70% - H_2O :20% - CO_2 :10%)
当社では、水蒸気高温酸化試験のほか、それ以外のガス種も含めた、ご希望のガス組成での試験を実施いたします。

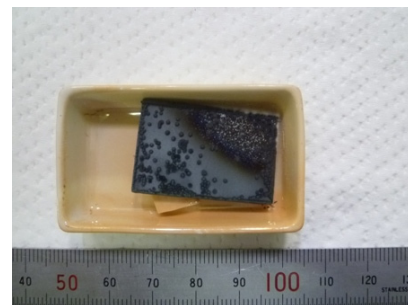
高温・長時間試験への対応

高温環境での腐食試験に対応可能です。(最高1200°C)
管状炉を用いた耐食性試験では多くの実績があります。
長時間試験も対応可能です。

腐食試験の例



各種雰囲気に対応する試験装置例
左側:加湿調整装置・雰囲気ガス調整装置
右側:試験部(加熱装置)



実施例
900°C × 200時間試験後の材料試験片
トレイに載せて、生成スケール等も回収いたします。

- 標準的な試験片サイズ: 20mm × 30mm × 2mm
(これ以外のサイズ・形状でも対応いたします)
同時に3枚以上の試験片での試験が可能です。
- 試験後の評価項目:
 - 試験片表面観察(写真撮影)
 - 試験片重量変化測定
 - 断面観察(変質層・侵食深さ測定)
 - 表面分析など



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。